

2017 年度目録委員会記録 No.10

第 10 回委員会

日時：2018 年 2 月 10 日（土）14 時～17 時 20 分

場所：日本図書館協会

出席：渡邊委員長、木下、河野、田代、野美山、平田、村上、横山
<事務局>三浦

[配布資料]

1. 刊行に向けてのメモ（2018.2.10）（4 ページ-A4、渡邊委員長）
2. 目録委員会報告案（2018.2.10）（8 ページ-A4、渡邊委員長）
3. パブリック・コメントその他検討課題への対応について（4 ページ-A4、渡邊委員長）
4. （パブリック・コメント）個別的な問題への対応（1 ページ-A4、渡邊委員長）
5. 付録#B-1 用語案（27 ページ-A4、木下委員）
6. 条項番号の参照ルール（6 ページ-A4、田代委員）
7. 付録#C.4 関連指示子：個人・家族・団体の間の関連（2017.3.31）（7 ページ-A4、田代委員）
8. （参考）付録#C.4 関連指示子：個人・家族・団体の間の関連（2018.2.10）（6 ページ-A4、田代委員）
9. 付録#C.1 関連指示子：資料に関するその他の関連（2018.1.31）への指摘（11 ページ-A4、田代委員）
10. 付録#C.2 関連指示子：資料と個人・家族・団体との関連（2018.1.31）への指摘（19 ページ-A4、田代委員）
11. 付録#A.1 片仮名記録法（2018.2.8）（10 ページ-A4、村上委員）
12. 付録#A.2 大文字使用法（2018.2.7）（6 ページ-A4、村上委員）
13. 付録#A.3 略語使用法（2018.2.7）（11 ページ-A4、村上委員）
14. 2017 年度第 9 回目録委員会記録（案）（4 ページ-A4）

[報告事項ほか]

1. 議事録の確認
2017 年度第 9 回の記録（資料 9）を確認した。
2. 関連する活動
・平成 29 年度図書館地区別研修（近畿地区）が神戸市で行われ、渡邊委員長が NCR2018 に関して講師を務めた。

[検討事項]

1. 2018 年版予備版の完成作業及び本版の刊行について
資料 1、2 に基づき、今後の作業内容やスケジュールについて確認した。
・今後は専ら参照指示の条項番号の確認・整備と、用語解説（後述）の修正結果の条文本体への反映を中心に取組む（2 月末目途）。条文の表記の揺れに係る修正は行わない。
・ウェブ上での公開を考慮し、条文にはヘッダーを付す。また、ファイル単位でカバーペ

ージを付すことを検討する。

- ・付録「#A.2 大文字使用法」、「#A.3 略語使用法」は、予備版に含めない。
- ・用語解説は、現在公開している「付録 F. 用語解説」（目録委員会暫定案）の範囲で、付録#Dとして予備版に含める。
- ・目録委員会報告案の内容を検討した。2007年度以降の委員の異動等を確認中である。
- ・予備版のホームページ公開について、作業手順等を確認した。
- ・本版の冊子体刊行について、今後の見通しを話し合った。

2. パブリック・コメントその他検討課題への対応について

資料 3、4に基づき、方針の確認を行った。

- ・条文案そのものに関わる問題について、全般的・横断的問題、個別的な問題ともに検討結果等を公開する想定である。文章表現等、比較的軽微な問題等については割愛することとする。

3. 条項番号の参照ルールについて

資料 6に基づき、検討を行った。

- ・参照指示において、適切な条項番号を示して関係条項を読者に的確に参照させるために、指示する範囲の明確化、形式の統一、見やすさの改善を図るべく、現在の案において修正作業を行う。その作業手順を検討し、確認した。
- ・条項内の箇条書きに a)、b)、c)という項番を付している。同一条項内で複数の異なる箇条書きのグループが存在することがあるが、a)に戻らず(繰り返さず)、通しの付番とする。これは参照指示において項番を指示する際に、記号が重複していると、どの項を指示しているのか分からなくなるためである。

4. 付録「#B.1 語彙のリストの用語」について

資料 5に基づき、検討を行った。

- ・条文中#2.17.4の「表 2.17.4 静止画の種類を示す用語」に掲載している「肖像」(icon)は、語義が聖画像であることから「アイコン」に修正する。

5. 付録「#C.4 関連指示子：個人・家族・団体間の関連」について

資料 7、8に基づき、検討を行った。

- ・関連指示子 colleague (同じ職業集団、職場、大学などの構成員。下位の関連指示子：assistant、co-worker、partner) に対する日本語を「同業者」とした。有力な候補であった「同僚」は、「co-worker」(その個人とともに、または分担して働く colleague)の方に充てた。これらの関連指示子のグループは、充てるべき日本語の検討が特に難航した。
- ・表の形式を確定した。

6. 付録「#C.1 関連指示子：資料に関するその他の関連」及び「#C.2 関連指示子：資料と個人・家族・団体との関連」について

資料 9、10に基づき、検討を行った。

- ・付録#C 全体における形式や文章表現の統一を検討した。修正後、本案を確定すること

を確認した。

7. 付録「#A.1 片仮名記録法」について

資料 11 に基づき、検討を行った。

・統制形の記録において「片仮名表記形」（日本語、中国語、韓国・朝鮮語以外の言語のタイトルまたは名称を片仮名で表記する形）という用語が用いられることとなり、紛らわしさを避けるため、「片仮名表記法」を「片仮名記録法」に改めた。これに伴って、本案（委員会暫定案（2017年2月10日）として公開済）全般で用いてきた「表記」を「記録」に改めた。

・他に軽微な修正を行ったが、NDL で検討して目録委員会に提出した案（2017年9月）から大きな変更はないため、間もなく確定する見込みとなった。

8. 付録「#A.2 大文字使用法」について

資料 12 に基づき、検討を行った。

・2017年9月委員会に提示した案から、文章表現を修正した。特に、「日本語、中国語、韓国・朝鮮語の表示形に含まれるラテン文字、キリル文字、ギリシャ文字等」の扱いが理解しやすくなるように表現を改めた（大文字・小文字の使用について、本則では各文字で書かれた言語の慣用に従い、別法では情報源に表示されているとおりに転記する）。目録委員会原案として確定する目処が立った。

9. 付録「#A.3 略語使用法」について

資料 13 に基づき、検討を行った。

・「メートル法による単位の記号（cm など）は、略語として扱わない」ことを明記した。目録委員会原案として確定する目処が立った。

次回以降の委員会の予定

3月10日（土）

4月21日（土）

以 上